

2学期末考査 日本史B 問題

I、文中の [] に適語をいれるべき語を記せ。また下線部に関わる問いに答えよ。

鎌倉末期、朝廷の勢力拡大をはかっていた大覚寺統の[1]天皇は、①幕府に反発を持つ人々の結集に成功、幕府を滅ぼすことに成功した。天皇は、[2]とよばれる改革を開始したが、②政治は停滞し、社会混乱が広がった。こうした不安と不満を背景に、③武家の中心であった[3]が武士たちの支持を背景に反乱をおこし、ついには京都に幕府を開くこととなった。

いったんは敗れた地位を譲った[1]天皇ではあったが、その後、京都を逃れ、奈良県の[4]で正統な朝廷であると主張したため、朝廷が二つに分裂する[5]時代となった。その後も混乱は続き、1350年には幕府が二派にわかれ抗争する[6]という事態が発生するなど混乱が続いた。この混乱は、武士たちが勢力拡大をめざして④争いをくりかえしたことにある。これにたいし、幕府は、諸国におかれた⑤守護の権限を強化し、一国全体の支配権確立を援助、こうして戦乱を収めていった。

<設問>

①鎌倉幕府滅亡にかかわる次の文を古い順に並べると記号はどのようになるか。**解答用紙の指示に従って記せ。**

- a.新田義貞が、関東の武士を率いて鎌倉を陥れた。
- b.楠木正成や赤松円心ら畿内近国の悪党らが挙兵した
- c.天皇は、流されていた隠岐島から脱出した。
- d.正中の乱が発覚し、天皇の側近であった日野資朝が処罰された。

②この改革について記した以下の文で、**誤りを含むものを1つ選び、記号で記せ。**

- (ア)新たにできた政権は公家勢力と武家勢力の矛盾をはらんだ政権であった。
- (イ)武家中心に恩賞が与えられ、荘園への権利を取り戻そうとしていた公家らは強い不満をもった。
- (ウ)天皇が自らに権力を集中したため、政治は遅々として進まず、さらに一貫性を欠き、多くの人々に落胆を与えた。
- (エ)この時期の混乱は京都二条河原に立てられた落書などでもうかがうことができる。

③この人物の動きを時代順に並べると記号の組み合わせはどのようになるか、**解答用紙の指示に従って記せ。**

- a.湊川の戦いで、新田義貞を破り、楠木正成を敗死させた。
- b.北条氏の一族の反乱を鎮圧するため、東国へ向かった。
- c.いったん京都を占領したが、東北からやってきた北畠顕家らに敗れ、九州へ逃れた。
- d.将軍を名乗り、武士たちに恩賞を与えたことなどから、京都の天皇側と対立した。

④武士同士の対立のなかには、同じ一族内部での対立が多くみられる。その理由を簡潔に記せ。

⑤幕府が、守護の権限を拡大させたことにかかわって記した以下の文で、**誤りを含むものを1つ選び、記号を記せ。**

- (ア)室町幕府から、大番催促・謀反人・殺害人逮捕という大犯三力条が新たに守護に与えられた。
- (イ)幕府の裁判の判決を強制執行する使節遵行権を守護に与えた。
- (ウ)いくつかの国の守護に、国内の荘園や公領の年貢の半分を徴発する権限を認める半済令をだした。
- (エ)荘園や公領の領主が年貢徴収を守護に請け負わせる守護請もさかんにおこなわれた。

II、[]に入れるべき語を選び記号で記せ。また下線部の設問に答えよ。

鎌倉中期以降、農村では、①肥料の使用、②農法の改善などによって③農業生産力は大きく向上した。

こうした生産力の発展にささえられ、商業や手工業も発達した。鎌倉時代には、特産物や米の売買のために[1]と呼ばれる定期市が始まり、室町時代になると、京都や鎌倉などの大都市で[2]と呼ばれる常設店も生まれた。各地に④行商人たちが現れた。商人や手工業者は[3]とよばれる同業者の組合に組織され、有力寺社の力を借りて製造・営業などの独占を実現しようとした。

交通の要地には、商品の中継と委託販売や運送を業とする[4]が生まれ、多量の物資が運ばれ、京都への輸送路では[5]などの小規模な運送業者が活躍した。

⑤貨幣の使用がすすむなか、鎌倉時代に[6]とよばれる金融業者が現れた。また貨幣の需要増大とともに、遠距離取引のため[7]が用いられるようになった。

鎌倉末期には、農業の発展を背景に、[8]とよばれる自治的な村が形成され、⑥領主の不当要求などにも協力して対抗した。こうした農民たちの団結はしだいに拡大、⑦15世紀前期になると巨大な土一揆があいついで京の都をおそった。

(ア)講 (イ)惣 (ウ)座 (エ)撰銭 (オ)為替 (カ)馬借 (キ)借上 (ク)問丸 (ケ)三斎市 (コ)六斎市 (サ)見世棚

＜設問＞

①鎌倉時代にはどのような肥料が用いられたのか、例を**1つ**記せ。(名前または説明で)

②鎌倉時代、米作に加えて、裏作に麦を栽培するといったやりかたが西日本ではじまった。このような栽培方法を何というか。

③鎌倉中期から室町時代(戦国時代期をのぞく)の農業について説明した文で誤りを含むものを**1つ**選び、記号で記せ。

(ア)堤防や大規模な灌漑用水をつくるなど、大土木事業がすすみ、農地面積が飛躍的に拡大した。

(イ)鉄製の農具や牛馬耕なども定着し、農業の集約化が進んだ。

(ウ)燈油の原料である荏胡麻や和紙の原料の楮などの栽培がはじまり、室町期になると多くの手工業原料が栽培された。

(エ)京都では、桂女や大原女とよばれた農家の女性たちが行商する姿がみられるようになった。

④右図のような行商人をなんというか。解答欄の指示に従い、漢字二字で記せ。

⑤当時の正式の貨幣はどのようなものが用いられていたのか、下から**1つ**を選び記号で記せ。

(ア)貿易でもたらされた宋銭や明銭 (イ)平安時代までに作られた皇朝十二銭

(ウ)室町幕府が鑄造させた永楽通宝 (エ)守護大名が鑄造した鑿銭

(オ)金座や銀座が鑄造した元禄小判や天保通宝など

⑥村の運営について記した以下の文について誤りを含むものを**1つ**選び、記号で記せ。

(ア)村の運営は寄合と呼ばれる会議ですすめられ、惣掟とよばれる規則もつくられた。

(イ)村では、共同で祭祀を行うための宮座などが形成された。

(ウ)惣百姓と呼ばれる農民たちが平等な立場で参加し、民主的な運営が行われていた。

(エ)領主とかけあって、村でまとめて年貢を請け負う地下請なども行われた。

(オ)用水の管理などをつうじて周辺の村とも連合していくようになった。

⑦村の農民たち全員が耕作を放棄して、他領や山林に逃げ込むことを何というか。漢字二字で記せ。

⑧この時期の一揆について記した以下の文で誤りを含むものを**1つ**を選び、記号で記せ。

(ア)1428年に発生した正長の一揆は、徳政を要求し、土倉や酒屋といった金融業者を襲撃した。

(イ)正長の一揆は、畿内各地に波及、実力で徳政を実施する私徳政が行われた。

(ウ)こうした一揆の指導者の中心は地侍と呼ばれた武士化した有力農民たちであった。

(エ)1441年の一揆において、農民らの強い要求にもかかわらず、幕府は徳政令の発布を拒否した。

Ⅲ、[]に入れるべき語を選び記号で記せ。また下線部の設問に答えよ。

1392年には[1]を実現した①3代將軍足利義満は、②朝廷が保持していた権限も吸収し、③室町幕府を確立した。また戦乱の中、強大な力を手にした有力な[2]を破り、その勢力を削減した。

義満のあとを継いだ4代將軍[3]の時代は比較的安定していたが、6代將軍はしだいに恐怖政治の性格を進めたため反発を買い、[4]の乱で有力大名の赤松満祐に殺害された。

8代將軍[5]の時代、④応仁の乱が発生した。さらに戦乱は地方に波及、各国では、有力な武士たちがこれまでの大名の支配を脅かし、その没落を促した。これにかわって、しだいにみずからの実力で領国支配を行う[6]が出現、新しい戦乱の時代がはじまることになる。

また南[7]地域では、応仁の乱後も争いつづける勢力を、武士や農民が協力して退去させ、8年間にわたる自治的支配を実現した。また北陸で[8]宗(⑤浄土真宗本願寺派)の信者(門徒)たちが、1世紀にわたり本願寺領国をつくった。このような下のものの力が上のものをしのいでいく風潮を[9]という。

荒廃していた京都を立ち直らせたのが、町衆と呼ばれる町人たちである。その中心となった[10]宗の信者らは法華一揆をおこし、市政に参加する様子をもしめた。

(ア)足利義政 (イ)足利義昭 (ウ)足利義持 (エ)足利義教 (オ)一向 (カ)日蓮 (キ)永享 (ク)嘉吉 (ケ)山城 (コ)加賀
(サ)下剋上 (シ)ばさら (ス)守護大名 (セ)戦国大名 (ソ)両統迭立 (タ)南北朝合一

<設問>

- ①足利義満が幕府の拠点として京都・室町に建てた広大な建物の名を記せ。
- ②朝廷の下にあった検非違使の権限を引き継ぎ、京都市中の警備や刑事裁判を主な任務とした機関はなにか。
- ③室町幕府の役職・組織などについて説明した以下の文は何の説明なのか、下の語群から選べ。
1. 古くからの家臣や有力な地方武士を集めて結成された將軍の直轄軍。
 2. 尊氏の子、基氏の子孫が世襲し、東国の支配を任せられた役職。そのもとに幕府と同様の機関が設けられた。
- (ア)関東管領 (イ)六波羅探題 (ウ)旗本 (エ)奉公衆 (オ)管領 (カ)鎌倉公方 (キ)関料 (ク)侍所

- ④応仁の乱について記した以下の文で、**誤りを含むものを一つ**選び、記号で記せ。

- (ア)將軍は弟の義視を養子としていたが、將軍夫人の日野富子は実子義尚を將軍につけようと画策した。
- (イ)畠山・斯波という管領を世襲する家内部での相続争いが激化していた。
- (ウ)さまざまな対立が、山名持豊ら幕府内の有力者の対立に結びついていった。
- (エ)戦いでは、軽装で機動力に富む足軽が多く用いられたが、彼らの放火・略奪などで京都の町は荒廃した。
- (オ)戦いは、大内氏の活躍によって、細川勝元率いる東軍が勝利した。

- ⑤この宗派では、中興の祖とされる人物が、成長しつつある農民の組織化によって、急速に信者を増やすことに成功した。
1. 中興の祖といわれる人物の名を記せ。
 2. この人物が、教えを広げるために信者(門徒)におくった平易な文章を何というか、記せ。

IV、[]に入れるべき語を選び記号で記せ。また下線部の設問に答えよ。

14世紀、①朝鮮半島や中国南部では[1]とよばれる日本人を中心とする海賊集団が襲撃・略奪をくりかえすようになった。これにたいし、中国側は、日本に対し彼らの取り締まりと入貢を要求、3代將軍は②正式な国交を回復、③貿易を開始した。貿易はいったん中断されたが、のち再開され、細川氏と結ぶ商人と大内氏と結ぶ[2]商人がこの貿易を担った。しかし両者は貿易の実権を握ってはげしく対立、1523年中国の港[3]で衝突、大内側が貿易を独占した。

④沖縄本島では、14世紀、[4]によって⑤琉球王国が建国された。

当時[5]とよばれていた北海道ではアイヌ文化がつついていたが、本州から和人たちが北海道の南部に進出、居住地をつくり、先住民の人々と交易をすすめたが、そのやり方に反発した先住民たちは[6]をリーダーとして蜂起、和人たちを追い詰めた。

(ア)蝦夷地 (イ)博多 (ウ)寧波 (エ)堺 (オ)長崎 (カ)尚巴志 (キ)李成桂 (ク)護佐丸 (ケ)ジャクシャイン (コ)コシャミン

<設問>

- ①日本と朝鮮の関係について記した以下の文で**誤りを含むものを1つ**選び、記号で記せ。

- (ア)海賊の横行に悩んだ朝鮮側は海賊の拠点と考えた五島列島を攻撃した。
- (イ)朝鮮側との貿易にたいし、幕府は対馬の宗氏をとおして統制をはかった。
- (ウ)朝鮮側と日本側の貿易は、通信符を用いて行われた。
- (エ)朝鮮側は三浦と呼ばれる3つの港を開港し、貿易への便宜を与えた。
- (オ)朝鮮の港にいた日本人たちは朝鮮側の迫害にたいし、反乱を起こしたが失敗、勢力を失っていった。

- ②中国側と日本との関係はどのようなものであったのか、**正しいものを1つ**選び、記号で記せ。

- (ア)天皇が、中国の皇帝の家臣となる形式をとっていた。
- (イ)対等・平等な関係であった。
- (ウ)中国の要求を受けたので、日本側が中国に優越的な内容をもっていた
- (エ)將軍は、自らを日本国王と自称していた。
- (オ)商人同士の関係を黙認する形式をとっている。

- ③正式な貿易であることを証明するものとして持参した証票(符)の名をいえ。

- ④統一までの時代を記した以下の時代名を古い順に並べるとどのようになるか。その**記号を古い順に**記せ。

A 三山時代 B グスク時代 C 貝塚時代

⑤琉球王国について正しく記した以下の文で誤りを含むものを一つ選び、記号で記せ。

(ア)中国の王朝との間の交易が盛んであった。

(イ)琉球は、中国と朝貢関係をむすび、属国という地位を利用して発展した。

(ウ)東アジアの中継貿易の中心として繁栄、「万国のかけ橋」とよばれた。

(エ)琉球は、室町幕府に使者を送り、日本との属国となった。

V、[]に入れるべき語を選び記号で記せ。また下線部の設問に答えよ。

室町文化は、3つの時期に分けられる。最初は[1]文化である。戦乱と時代の転換期という緊張感を背景に、①歴史書や軍記物語などがつくられる一方、武家・公家を問わず広く②連歌が流行、華美な風俗で伝統的権威を嘲笑するような行動をとった[2]とよばれる人々も出現した。

第2の時期は、鹿苑寺③金閣に代表される14世紀後半～15世紀初頭の時期である。幕府の保護の下、④禅宗文化が発展した。禅僧たちは、禅の教えだけでなく、宋学などの中国文化を広く伝えた。また、この時代には観阿弥・⑤世阿弥父子が芸術性の高い能を完成させた。

応仁の乱後の時期の文化は、代表的な建築である⑥慈照寺銀閣にちなんで[3]文化とよばれる。この時期、竜安寺石庭に見られるような[4]の庭園がつけられた。水墨画では[5]が現れ、日本的な様式を創造した。

茶の湯では、15世紀後半になると村田珠光が出て、禅の精神を踏まえた[6]をはじめた。

(ア)東山 (イ)西山 (ウ)北山 (エ)南北朝 (オ)五山 (カ)大和絵 (キ)闘茶 (ク)佗び茶 (ケ)ばさら (コ)かぶき
(サ)狩野永徳 (シ)雪舟 (ス)夢窓疎石

< 設問 >

①南北朝の動乱のなかで多くの歴史にかかわる作品が著された。次の説明文が示した作品の名を選べ。

1、北畠親房が南朝の立場から皇位継承の道理を説いた歴史理論書はなにか。

2、南朝に同情的な立場で、この時代の動乱の全体を描いた戦記物語は何か。

(ア)増鏡 (イ)神皇正統記 (ウ)風姿花伝 (エ)梅松論 (オ)太平記 (カ)愚管抄

②連歌について記した以下の文で誤りを含むものを一つ選び、記号で記せ。

(ア)連歌とは、5, 7, 5の発句に、7, 7の脇句をつける形式を集まった人が即興的に繰り返す集団的な文学である。

(イ)二条良基は、自らが編纂した「菟玖波集」を勅撰集に準じた地位に高めた。

(ウ)宗祇は、「犬筑波集」を編纂し、連歌を確立した。

(エ)山崎宗鑑は、より自由な俳諧連歌を作り出した。

③金閣はその建築様式の中に武家文化と公家文化が併存しているといわれる。このことについて説明せよ。

④1、幕府保護下の禅宗の官寺をどのようによぶか。解答欄の指示に従って記せ。

2、自由な活動を求めた林下の一人で、とんち話で有名な、京田辺市にゆかりの禅僧の名を記せ。

⑤「秘すれば花」ということばでも知られる能の神髓をしめす世阿弥が著した理論書の名を記せ。

⑥慈照寺のなかの東求堂同仁齋は、日本建築の代表的な様式を成立させたことで有名である。その様式を解答欄の指示にしたがって記せ。